

平成 29 年度 第 10 回定例理事会抄録

日時：平成 30 年 1 月 20 日（土）13：01～14：28

場所：一般社団法人日本作業療法士協会 10 階会議室

出席：中村（会長）、荻原、香山、山本（副会長）、宇田、大庭、苅山、座小田、陣内、藤井、三澤、宮口（常務理事）、池田、小川、酒井、佐藤、清水、高島、谷、二神、村井（理事）、長尾、古川（監事）

陪席：小賀野、吉田（委員長）、岡本、岩上（財務担当）、宮井（事務長）

I. 報告事項

1. 議事録（山本副会長） 書面報告

1) 平成 29 年度第 9 回定例理事会議事録

2) 平成 29 年度第 5 回定例常務理事会議事録

2. 平成 29 年 11 月期の収支状況について（岡本財務担当） 収入は 80.33%、支出は 53.48% の執行率となっている。

3. 平成 30 年度会議開催日程の一部修正について（中村会長） 5 月の三役会の開催日を 5 月 8 日に変更したい。

4. 第 51 回学会（2017 東京大会）決算書について（香山副会長） 次回理事会において報告する。

5. 第 52 回学会（2018 名古屋大会）総合趣意書について（宮口常務理事・学術部長） 大学院説明ブースを新たに設置する。今後は企画の追加の相談に応じる。

6. 専門作業療法士新規認定審査に関する経過報告について（陣内常務理事・教育部長） 前回理事会で保留中の 2 件を可とする。

7. 平成 29 年度災害発生を想定した訓練の実施について（香山副会長、清水災害対策副室長） 平成 29 年度は実施可能な士会の手上げによる試行的な訓練を実施する。

8. 会長及び業務執行理事の平成 29 年 12 月期活動報告 書面報告。

9. 協会各部署の平成 29 年 12 月期活動報告 書面報告。

10. 渉外活動報告

苅山常務理事・教育部副部長：認知症の人と家族の会により、本人（若年）のつどいを考え、広める研修会を開催した。

中村会長：来年度の老健事業について、生活行為工夫情報モデル事業の内容をテーマに入れ込んでいただけるよう厚生労働省老健局にお願いした。

三澤常務理事・制度対策部副部長：特別支援教育ネットワーク推進委員会が発達障害に関するネットワーク推進委員会に名称変更となり、特別支援教育に関する調査報告をプレゼンすることとなった。

11. 日本作業療法士連盟の動き 書面報告。

12. 訪問リハビリテーション振興財団の動き 書面報告。

13. 協会 Web サイトのアクセスログ（平成 29 年 12 月期） 書面報告。

14. その他

宮口常務理事・学術部副部長：厚労科研の補助金の地域医療基盤開発推進研究事業で、医療従事者の需要に関する研究において、Web 調査を開始することとなった。

大庭常務理事：日本義肢装具学会創立 50 周年式典と祝賀会で、作業療法士では古川宏監事と北里大学の浅井憲義元教授が表彰された。

陣内常務理事・教育部長：第 5 回理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会が開催され、最終報告書が出された。

II. 審議事項

1. 平成 30 年度事業計画案と予算案について（香山副会長） 引き続き経費の削減に努め、2 月の定例理事会で決定できるよう最終的な詰めの段階に入る。 →継続審議

2. 事務局職員の採用について（荻原事務局長） 事務局職員退職に伴う欠員の補充のため、作業療法士 1 名を採用する。 →承認

3. 会員の入退会について（荻原事務局長） →承認

4. 専門作業療法士更新認定審査の結果について（陣内常務理事・教育部長） 1 名を「可」と判定した。 →承認

5. 会員の処分について（荻原事務局長・倫理委員長） →承認

6. 特別表彰審査結果報告と特別表彰者の選出について（香山副会長・表彰審査会長） 日本作業療法士協会もしくは我が国の作業療法士の発展に寄与したとして推薦された 8 名について、表彰審査会が審査し、2 名を選出した。 →承認

7. その他

理事、監事から、業務分掌の整備を早急に検討していただきたいという意見が出され、

事務局長から、現在職務権限規程の改定案を作成中である旨の回答があった。

以上